全国大会への切符をつかむ！

全国大会を目指す選手たちが一堂に集結し、技を競い合う第47回全北海道空手道選抜選手権大会が５月２日、３日に千歳市で開催され、今金町空手道スポーツ少年団から10名の選手が出場しました。

２日間に及ぶ試合には小学１年生から一般まで約400名の選手が出場し、形の部、組手の部の競技を学年別に分けられた個人戦と団体戦が行われ、各部において優秀な成績を修めた４名の選手が８月１日、２日に静岡県にて行われる小学３年生以上を対象とした全国大会出場への切符をつかみ取りました。

今回の全道大会へ向けて、空手少年団では４月から通常の週２回の練習に、強化練習としてさらに２日の練習を加えて特訓してきたそうです。全国大会出場への切符をつかんだ選手の中でも、今回で６年連続の全国大会への出場となった水上葉月選手（中２）は「自信があった形の部で３位だったのは悔しいけど、組手の部で優勝できて嬉しかった。全国大会では３回戦以上に進んだことがないので、それ以上を目指して練習をしていきたい。」と今回の全道大会の感想と全国大会に対する意気込みを語ってくれました。

全道大会で入賞した選手達（他２名入賞）

全道大会入賞者

■団体戦

小学生低学年形の部　３位
（徳本一輝、木島翔吾、吉田光ノ丞）

■個人戦

木島	翔吾（小２）	形の部	３位
徳本	一輝（小３）	組手の部	準優勝
横山	明季（小３）	形の部	３位
横山	涼香（中２）	形の部	優勝
		組手の部	３位
水上	葉月（中２）	形の部	３位
		組手の部	優勝

※うち小学３年生以上が全国大会へ出場

豊作願い田植え始まる　〈檜山管内のトップを切って田植えが始まりました〉

５月14日、檜山管内のトップを切って吉本富夫（字鈴岡）さんの水田で田植えが始まりました。この日植えられたのは「ふっくりんこ」1.5ヘクタールで昨年より一日早い田植えとなりました。

〈新品種「ゆめぴりか」の生育順調に進む〉

新たな北海道米として注目を集める「ゆめぴりか」は、これまでの北海道米と比べて、甘みと粘り、やわらかさに優れた良食味が特徴で、北海道米の主力銘柄として期待されています。

今金町内でも約90ヘクタールが作付けされております。栽培では、薬を使わず食の安全や環境保全に配慮した温湯消毒による種籾を、４月上旬頃から播種しハウス内で育苗してきました。田植えは５月24日頃をピークに行われ、現在は天候にも恵まれ、順調に生育しております。

「ゆめぴりか」
北海道立上川農業試験場で育成された品種で、平成20年に北海道優良品種として採用された新品種。

おいしいのり巻きができました！　春らんまん花いっぱい2009

『花』を通して明るく美しい町づくりと、地球に優しい省資源化を目指して、商工会女性部が中心となり行われている「春らんまん花いっぱい2009」が５月17日、デ・モーレン下にて開催されました。

あいにく雨模様の天気となり会場をデ・モーレン下に移しての開催となりましたが、多くの親子連れなどが集まり、マリーゴールドなどの花苗販売や、ステージイベントなど楽しみました。中でも、「ジャンボのり巻きトライ」では、会場の大人から子供まで30人が参加して、６mを超えるのり巻きづくりに挑戦し見事完成しました。